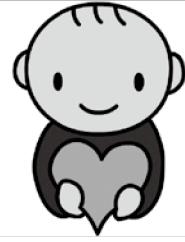


こころのラボレーション



スクールサポーター  
(臨床心理士)  
小林 真理

その時々環境と成長

「あの時にこうしてもらったからよかった」と振り返ったことはありますか？子どもの時は、自分で環境を選んだり作り出すことが少ないので、その時々で置かれている環境について考えることがなかなか難しいものだと思います。

子どもの成長は、個人差はありますが、心も身体も自然に成長していくものです。しかし、自閉症スペクトラム、学習障がい、ADHD(注意欠陥・多動性障がい)などの発達障がいのある子どもは、成長段階のいずれかの年齢の期間に、それぞれの特徴に応じた学習や生活しやすい環境調整がとても大事にならなくてはなりません。たとえば、ADHDの子どもの場合、注意が散漫にならないための薬を服薬しながら通常学級で学習生活している子どももいれば、服薬はしてなくても算数や国語などの教科によっては

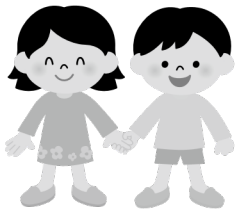
特別支援学級の少人数の中でADHDの特徴に合わせたカリキュラムの学習を行ったり、「書く」ことに対して「漢字などの形がとらえられない」「図形の形がよく見えていない」などの特徴が強いADHDの子どもは、1日10分くらいの時間をつかって教室とは違う場所で行うなど、同じADHDの子どもであつても、その子の状態に応じて、提供される環境や工夫は異なつてきます。

適切な環境や工夫を与えられた子ども達をみていて一番の成長だと感じるのは、子どもが自分自身の苦手な部分や特徴についての自己理解がすすみ障がいもたらさず苦手なことを克服し、自信をもてるようになることです。どの子どもも「自信をもって生きていってほしい」と願うのは大人としては当然のことだと思えますが、自信をもつための体験を重ねにくい子どもにとつて、適切な環境や工夫の元で自信をつける体験を積むことはとても重要なことです。

自己理解の進んでいる子どもは、自分の状態を分析しながら周囲や環境と折り合いをつけようとする事ができるよつになつていきます。それによつて自ら適応しやすい状態

を見出していくことができるのです。子どもが自分自身で道を切り開いていける強さ、自立のための強さを身に着けながら成長していけるようになるためにも、自己理解が大切なのです。

その子どもにとつて、身近な存在である保護者や家族、学校の先生たちが「子どものことを理解する、認める」からこそ、必要な環境、工夫を提供できるのです。「環境調整や工夫が必要なのはうちの子ができないからか？」と不満を感じたり学校批判をしたくなることもあるかもしれません。子どもの状態を見極めて受け入れることによつてはじめて、子どもの成長にあつた環境を提供していくことができるのです。子どもは成長していくものです。子どもの成長を引き出せる環境について、ぐっくばらんに考え話し合えるようになっていくといいですね。



植物園だより



今月上旬から中旬に数百株のレンゲシウマが見頃を迎えます。

ミニ企画展  
「夏に咲く  
軽井沢ゆかりの植物」

とき 8月1日(土)から  
8月30日(日)まで

ところ 植物園展示館

内容 この季節に見頃を迎える軽井沢ゆかりの植物等について紹介します。

参加費 入園料のみ

ヤマユリ苗配布のお知らせ

入園者1人(入園券1枚)につき植物園で育てたヤマユリの苗1株を100名様にプレゼントします。

とき 8月7日(金) 9時から

入園料 小学生以上

1人1回100円  
(展示館入館料含む)

夏休み特別企画

「植物の名前をしらべよう」

とき 8月2日(日)・16日(日)  
13時30分から15時

講師 植物園園長

定員 各日10名

内容 名前の分からない押し葉標本を一緒に調べます。

持ち物 筆記用具、名前の分からない押し葉標本

参加費 入園料のみ

\*8月1日より電話にて申し込みんでください。

植物観察会のお知らせ

とき 8月2日(日)、16日(日)、30日(日)

10時30分から12時まで

講師 植物園園長

定員 各日20名

内容 園の保全活動や見頃の植物について紹介します。

参加費 入園料のみ

\*申し込み不要

\*天候状況等により時間の短縮や観覧会を中止にする場合があります。

【申し込み・問い合わせ】

植物園 電話 48-3337